

これから舞踊を学ぶ学生・生徒の方、
ダンスやバレエなど舞踊に興味のある方に最適。
今まで知らなかった舞踊の世界が広がります。

猪崎 弥生 著（お茶の水女子大学大学院教授）

開かれた身体を求めて — 舞踊学へのプレリュード —

A5判・約176ページ・並装・カラー口絵付き ISBN 978-4-89199-095-4

2012年4月
発売予定

予価：
本体2,500円
+税



第I部の舞踊理論入門では、ランガー、ドゥブラー、ラバン、そして松本千代栄の理論を、舞踊学の基礎的な理論としてわかりやすく解説。この4人の理論をもとに、舞踊への理解をより深めていくことができます。

第II部の舞踊教育方法論では、多くの写真とともに舞踊指導に役立つ具体的な実践例を解説しています。教育や社会の中で行われているクリエイティブなパフォーマンス、創造的芸術経験としての舞踊のあり方を見つめていきます。

主な目次

I. 舞踊理論入門

1. 芸術としての舞踊 — ランガーの美学的舞踊論 —
2. 教育としての舞踊と舞踊学の始まり
3. 「内なる舞踊」と「外なる舞踊」 — ドゥブラーの舞踊論 —
4. 創造的芸術活動としてのダンス — ドゥブラーの舞踊教育論 —
5. 時空間芸術としての舞踊 — ラバンの舞踊論 —
6. 日本の舞踊学の発展(1) — 遊戯から創作ダンスへ —
7. 日本の舞踊学の発展(2) — ダンスから舞踊研究へ —
8. 舞踊理論の構造

II. 舞踊教育方法論

9. 舞踊教育の目指すもの
10. 見る — 創造的芸術活動における「見る」
11. 創る(1) — 万人のためのダンスプログラム —
12. 創る(2) — 即興から創作ダンスへ —
13. 踊る(1) — ダンサーのためのエクササイズ —
14. 踊る(2) — 子どものためのダンス指導と場づくり —
15. 踊る(3) — 社会に開かれたダンスづくり —